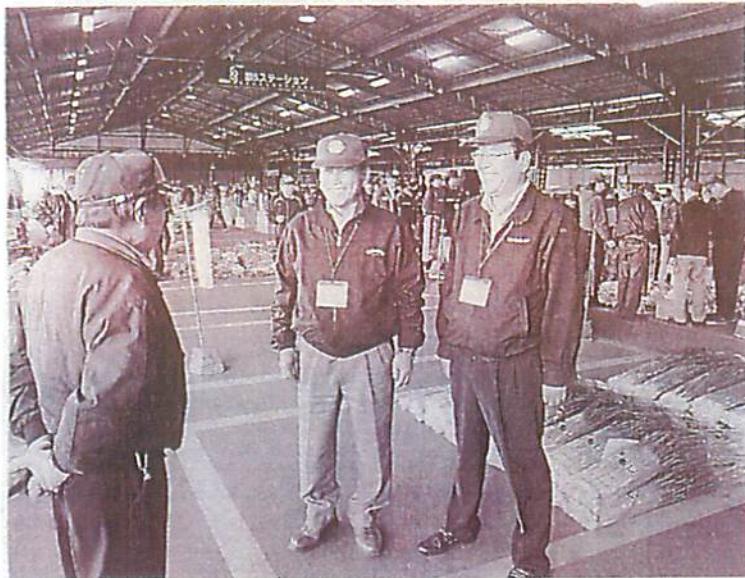


2013年（平成25年）

4月6日

十一曜日

仲買人と談笑する熊青西九州青果の森下義弘社長（右から2人目）と鳴松猛取締役（右端）＝熊本市



## 熊青西九州青果 (熊本市)

# 買収劇から8年 自社株買い戻し

か、独自品種米の生産・販売などにも挑戦。全国から視察も相次いだが、思うような利益は出せなかった。鳴松猛取締役は「親会社は農業を知らなかつた」と振り返る。

派手なM&A（企業の合併と買収）で知られたクレスト社だが、その内実は西九州青果の青果卸事業頼

式の約9割を所有していた当時の社長の独断。社員は何も知られていなかつた。

熊本市の熊本地方卸売市場（通称・田崎市場）に青果卸売市場を開設する熊青西九州青果（森下義弘社長）の経営陣が、旧親会社の経営不振で整理回収機構などに移っていた自社株式4万5千株（発行済み株式の90%）を買い戻した。市場開設60年の歴史を持つ企業に突如降り掛かった買収劇から8年。名実ともに地場企業として再スタートを切った。

# 歴史ある市場 再出発

み。コンサルなどの他の事業は振るわなかつた。さらに、クレスト社が融資を受けていた日本振興銀行が経営破綻。クレス

済

元に残さなくてはならぬ  
い」と支援してくれたこ  
とがありがたかった。卸  
売業という本業に専念  
し、消費者ニーズに応じ  
た産地づくりなど地域に  
貢献することで、期待に  
応えたい」と気持ちを新  
たにしている。

(田川里美)

Q  
ズーム

熊青西九州青果 19  
59年設立。取扱高は、  
熊本大同青果に次いで県  
内2位。今回の株式取得  
に際し、社長を理事長と  
する一般財団法人を設立  
し、会社の垂頭株主とし  
た。2012年8月期の  
売上高は144億円。從

り返る。ある仲卸や小売店、学校給食の各組合からの出資併と買収)で知られたクレスト社だが、その内実は西九州青果の青果卸事業頼や取引先が、当社を「地

ある仲卸や小売店、学校給食の各組合からの出資で、申し出もあった。森下社長は「金融機関や取引先が、当社を『地

し、会社の重頭株主としていた。2012年8月期の売上高は144億円。従業員は95人。